

自治医科大学医学部：COVID-19に対する対応表 Version 6

レベル	県内新規患者数/週	栃木県基準	対策関係者会議	授業	実習	附属病院BSL	院外BSL (さいたま含む)	海外BSL	一般生活指導	備考
0				多くの人が免疫を獲得し、社会が正常化した状態						
1	291人未満	-	必要に応じ開催	感染対策の上、実施 (メディア授業併用)	感染対策の上、分散実施 (メディア授業併用)	感染対策の上、実施 (メディア授業併用) または 分散実施	感染対策の上、実施 (メディア授業併用) または 分散実施 (但し、当該地域の感染状況を勘案し判断)	原則不可	新しい生活様式の実践：毎日の健康観察、マスク適時着用、手洗い励行、身体的距離の確保、3密回避、クラスターが発生しうる場所への立ち入り禁止、対面飲食禁止、特定移動制限	院外BSLを許可するフェーズである。海外BSLは社会が正常化するまでは原則不可。
2	291人以上	感染拡大期 感染収縮期	定期開催	感染対策の上、実施 (メディア授業併用)	感染対策の上、分散実施 (メディア授業併用)	感染対策の上、実施 (メディア授業併用) または 分散実施	原則、附属病院BSLとするが (左に準じる)、当該実習先の感染状況によっては、感染対策の上で、実施を認める場合がある	原則不可		院外BSLは、原則附属病院BSLで対応するフェーズである。
3	484人以上	まん延防止等重点措置		感染対策の上、実施 (メディア授業併用)	感染対策の上、分散実施 (メディア授業併用)	分散実施 または メディア授業	附属病院BSLとする (左に準じる)	不可		実習、BSLは、原則メディア授業で対応するフェーズである
4	状況をみて判断	緊急事態措置		感染対策の上、分散実施 または メディア授業	原則メディア授業 但し、学内の感染状況によっては、感染対策の上で、分散実施	原則メディア授業 但し、県内、院内および学内の感染状況によっては、感染対策の上で、分散実施	メディア授業	不可		

各レベルの状況・求められる対策 (栃木県ホームページより)

警戒度レベル	状況	求められる対策
レベル0 (感染者ゼロレベル)	新規感染者ゼロが維持できている状態	総合的な感染対策の継続
レベル1 (維持すべきレベル)	安定的に一般医療が確保され、新型コロナウイルス感染症に対し医療が対応できている状態	総合的な感染対策の継続
レベル2 (警戒を強化すべきレベル)	新規感染者数の増加傾向が見られ、一般医療及び新型コロナウイルス感染症への医療の負担が生じ始めているが、段階的に対応する病床数を増やすことで、医療が必要な人への適切な対応ができていく状態	感染リスクの高い行動を回避するよう呼びかけ
レベル3 (対策を強化すべきレベル)	一般医療を相当制限しなければ、新型コロナウイルス感染症への医療の対応ができず、医療が必要な人への適切な対応ができなくなると判断される状況	事業者、国民に対する強い呼びかけ
レベル4 (避けたいレベル)	一般医療を大きく制限しても、新型コロナウイルス感染症への医療に対応できない状況	さらなる一般医療の制限、積極的疫学調査の重点化

	関係委員会等(担当課)	連絡先
教育	教務委員会 (学事課教務係)	外線 0285-58-●●●●
	医学教育センター	外線 0285-58-●●●●
	情報センター	外線 0285-58-●●●●
学生生活	学生寮生活サポートセンター (学生課)	外線 0285-58-●●●●
	学生生活支援センター	外線 0285-58-●●●●
	学生委員会 (学生課)	外線 0285-58-●●●●
保健	保健センター	外線 0285-58-●●●●
総務	学事課総務係	外線 0285-58-●●●●

感染対策：毎日の健康観察、手指衛生、マスク常時着用、3密回避、病院エリアでの飲食禁止、対面での飲食禁止

* 通信環境の整わない学生は、所定の場所での受講を考慮することがある